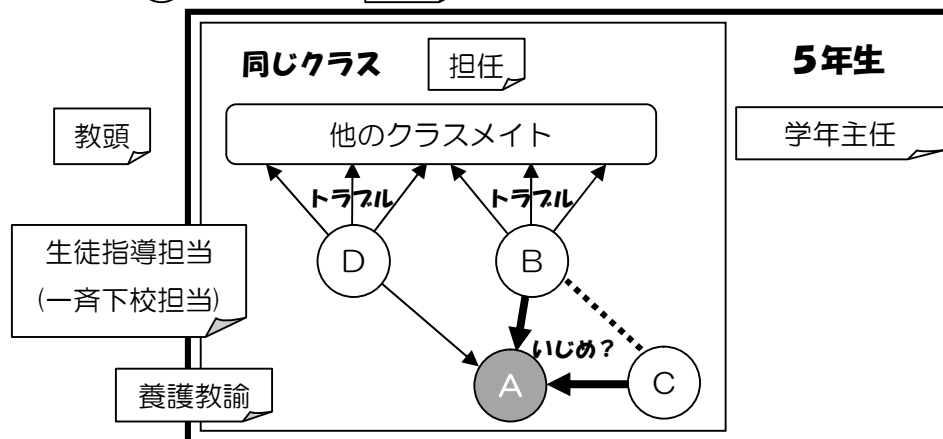


発覚：小5のAの母から担任に入電→“今日の下校中に同じクラスのB・Cからいじめを受けました”

B：後ろからズボンを下げようとした C：悪口を言われ、帽子を取って投げられた →A：泣いている

〈関係図〉○：関係児童、□：関係教員



※以下、【 情報提供者 情報内容 】を示す（『 』はA、「 」は関係児童、“ ”はその他の言葉）

(1) 本人に対する影響

- ・担任 入電翌日のBとCへの確認：Aの母親が言っていたことを認めている
- ・養護教諭 A＝『BとCから「給食泥棒」と呼ばれて、教室に入りづらい』と困っている
- ・学年主任 合同体育：AがBとCに強い口調で「じゃまだ、どけ」と言われていた→状況確認後二人から謝罪
BとC＝注意した行為は繰り返さないが、違った行為でAにちょっかいをかける
- ・学年主任 教室掃除の様子：Aの机だけが運ばれていなかったことがある
→児童の反応“今日はAが休んでいるから、誰も運ばなかった”
- ・生徒指導 一斉下校時：B・CがAに詰め寄って話をしていた →BとC＝「ただ、遊ぶ約束をしていた」
A＝『「保健室で何をしているんだ」とか「保健の先生に何か言ったか」と聞かれた』

(2) 本人の様子や状況

- ・担任 A＝人との関わりが苦手な友達も多くない
入電翌日の確認：BとCは嫌だが、他の子からも嫌なことをされる・言われる→『教室がこわい』
- ・養護教諭 A＝遅刻→増（午前保健室、給食から教室に入る）
長放課の保健室利用→多（同学年の児童がいると、保健室の周辺をふらふらする）
- ・養護教諭 A＝遅刻して給食から入室したときの周囲の状況→教室に入りづらい、嫌な気持ちになる
他の子に“給食を食べに来た”と言われた Cは給食をちょっとしか入れてくれなかった

- ・**養護教諭**校外学習：Aは朝から登校して参加できた

A＝バスの前の席の子が座席を倒してきた→『やめて』と言ったがやめず、悲しくて泣いていた

(3) クラスの状況

- ・**生徒指導**相談BOXの手紙：匿名“うちのクラスでいじめがある”→生徒指導担当から児童に対して講話
(内容：いじめによる人権侵害、普段の言葉遣いへの気配り、お互いの違いを認め合う心の広さ)
- ・**担任**ふざけてちょっかいをかける、“ウザイ”“消えろ”などの汚い言葉を口にする児童が何人かいる
注意→その場は反省を見せる→怒り・不満がある→また手を出す、汚い言葉で攻撃する
- ・**養護教諭**A以外の児童＝BやDから嫌なことを言われたり、されたりして困っているとの相談がある
- ・**学年主任**音楽教員から相談：“BやDがいろいろな児童にちょっかいをかけて困る”→注意しても改善なし
- ・**生徒指導**相談BOXの手紙（同じクラスのAではない児童）：“Dから嫌なことをされて困っている”
→担任と相談してDに話した：手紙の内容とDの言い分に食い違いあり（Dは“覚えていない”）
- ・**教頭**近所の住民からの報告：“同じ子が友達の荷物を持たされているのを何度か見た”→担任から注意

(4) その他の情報

- ・**養護教諭**Aの愚痴：『お母さんが妹（保育園）のことばかり心配している』（父親は1年前から単身赴任）
 - ・**生徒指導**A・B・Cは家が近く、同じ通学班→Aは少し離れたところでポツンと一人でいた
 - ・**教頭**2年前からAの母親から相談：中学2年の姉が市の不登校支援教室に通所している
Aの母親：“遅刻が増えた”“一人ぼっちで遊ぶことが増えた”“姉のようにならないか”と心配
 - ・**担任**C＝Bにちょっかいをかけられて嫌に思っている
 - ・**教頭**B＝父親からの日常的な暴言を受けていた→月1回カウンセリングにつないだ
カウンセラーの話：Bは「家の中の人はみんな敵（普段から家で怒られ、一人ぼっち）」と話した
 - ・**担任**D＝給食の時間に登校することが多いAに“給食泥棒”と軽い気持ちで数回呼んだ
 - ・**教頭**Dの母親の話：Dは“家ではおとなしい子”→学校でのトラブルには“なぜ”という思い
- Aの気持ち『一人でいるのはいいけど、みんなからちょっかいをかけられたり、ひどいことを言われたりするから教室はこわくて入りたくない』『お母さんには迷惑をかけたくないから、学校には行かないといけない』
 - Bの話：「DがいつもAに対して悪口を言っているから、一緒になって言うってしまう」
 - Cの話：「僕もBからちょっかいをかけられて嫌だけど、それを言えば自分がAの代わりになりそうで怖い」